

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員:4名回答、回答率100%

保護者様:17名回答、回答率89%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・個別課題を行うスペースと運動を行うスペースを分けている。
- ・利用者が来室する前、退室した後に清掃だけでなく、使用した玩具や触りそうな箇所の消毒を常に行い、感染症対策に努めている。
- ・送迎の際に近隣の教室と協力を行う等安全に配慮して人員体制を整えることができている。

○業務改善

- ・保護者、職員の意見を十分に取り入れて業務改善を適宜行っている。
- ・職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で職歴に合わせた研修受ける機会が設けられている。

○適切な支援の提供

- ・5領域に合わせて計画をたてて療育を行うことができている。
- ・利用者の課題に応じた集団療育や個別課題の設定を行っている。
- ・当日の動きや目標について業務前ミーティングを行い統一した支援を行っている。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校送迎時に担任の先生と利用者の様子についての情報共有し連携をとっている。
- ・関係機関連絡会に参加し、他の放課後デイサービスとの情報交換を行っている。

○保護者への説明責任等

- ・運営規程や支援プログラム、利用者負担については契約時や変更があった際に丁寧に説明を行っている。
- ・サービス提供記録や送迎の際に保護者との情報共有を行っている。また学校や家庭での様子について相談がある際には家族支援の時間を作り相談援助を行っている。

○非常時等の対応

- ・月に一度こどもを交えた避難訓練を行っている。
- ・定期的にスタッフ内でこどもの突然の体調不良や地震などの緊急時を想定した訓練を行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・職員の配置、活動スペースについては8割以上の方に満足しているという回答を頂いた。
- ・生活空間について、部屋の一部に段差があり、注意する必要があるのではとご意見を頂いた。段差のある箇所では色ガムテープを貼り視覚的な注意を促すだけでなく、スタッフが常に見守れるような体制をとって転倒に注意をしていく。

○適切な支援の提供

- ・利用者の特性等に応じた支援の提供、利用者と保護者のニーズに則った個別支援計画の作成については8割以上の方に満足しているという回答を頂いた。引き続きご満足頂けるように一人一人にあった支援の提供を心がけていく。

○保護者への説明等

- ・日頃の利用者の情報共有について、記録を保護者でも確認できるようにしたいという意見を頂いた。希望があればサービス提供記録のコピーをお渡しする、教室での面談を随時行うなどして対応していく事を周知して、様々な方法で情報を共有できるようにしていく。
- ・保護者会の開催について、保護者同士の交流の機会があってもいいのではとご意見を頂いた。開催の際には十分な周知を行い、多くの方にご参加頂けるように日程調整を行う。また保護者同士の交流の時間を設けていく。

○非常時等の対応

- ・定期的な訓練の実施、事故防止マニュアル等の保護者への周知については8割以上の方に満足しているという回答を頂いた。

○満足度

- ・安心感をもった通所について9割以上の方に満足しているという回答を頂いた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・来年度4月に保護者会や療育参観の開催日を決め、計画的に準備を進め、前期と後期で保護者の方に教室を見てもらう機会を設けていく。
- ・長期休暇や祝日で課外活動を企画し、地域と交流する機会を設け、開かれた教室づくりを行なっていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者会について今年度は開催が出来なかったが、療育参観は多くの保護者の方に参加できるよう全曜日で開催することができた。多くの保護者の方に普段の教室の様子を見て頂けた。
- ・長期休みに限らず、各学校の振替休日などを利用した外出を多く企画することが出来た。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・利用者たちの帰宅後に使った教室備品の消毒を徹底、また感染症対策を意識して適宜換気を行う事を意識するといった、清潔で過ごしやすい教室づくりを行っている。
- ・利用者と保護者のニーズに則った個別支援計画の作成を行い、利用者の特性に合わせた支援を行っている。
- ・5領域に沿った集団療育及びその日の利用者の課題に合わせた集団療育の設定を行っている。
- ・緊急時に落ち着いて対応できるように定期的な訓練をスタッフ・利用者ともに行っている。

○改善点

- ・保護者参観は行うことができたが、保護者会については行えなかった。教室での支援の様子を見ていただくだけでなく、保護者同士が交流できる機会を設けるために、保護者会の開催を行う。
 - ・利用者の日々の様子について書かれた記録を見たいという要望があったため、再度記録については保護者も見られることをお伝えし、情報共有がしやすい環境づくりを行う。
- 面談や日々の送迎時での共有以外でも、保護者に伝わりやすい情報共有の仕方を考え、個々のニーズに沿って、共有の仕方を検討していく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・日々の利用者の様子について保護者からの相談を聞く機会の充実を図る。
- ・保護者会・療育参観の実施回数を増やし、保護者により開かれた教室の運営を目指す。

○1年間で取り組む具体策

- ・送迎の際や家族支援を利用し保護者からの相談を幅広く受け入れる体制づくりを行う。教室での支援内容をより細かく保護者に共有し利用者の成長に繋げていく。
- ・療育参観や保護者会を半期ごとに1回以上行い、多くの保護者に教室での支援を知っていただく機会と保護者同士の交流の機会を増やしていく。4月中に年間の療育参観や保護者会の実施日を決めて、周知していく。